

# 1979年 大会記録

## 国際

ドイツ・グランプリ=グレコローマン(3月10~11日、西ドイツ・アヤツェンブ

### ルク)

48kg級 佐々木文和(日体大)=3位、飯塚信良(日体大)=二失、宮原厚次(自衛隊)=四失、52kg級 朝倉利夫(国土館大)=三失、斉藤秀雄(国土館大)=二失、57kg級 柏木究(国土館大)=四失、阿佐雄二(自衛隊)=二失、長内清一(青森・八戸商高教)=3位、62kg級 藤田康隆(日体大OB)=三失、68kg級 南敏文(日体大)=三失、74kg級 野口次夫(自衛隊)=三失

ニコラ・ペトロフ国際大会=グレコローマン(3月16~18日、ブルガリア・ソフィ

### ア)

48kg級 佐々木文和(日体大)=三失、飯塚信良(日体大)=三失、宮原厚次(自衛隊)=4位、52kg級 朝倉利夫(国土館大)=3位、斉藤秀雄(国土館大)=三失、57kg級 柏木究(国土館大)=三失、阿佐雄二(自衛隊)=四失、長内清一(青森・八戸商高教)=6位、62kg級 藤田康隆(日体大OB)=二失、68kg級 南敏文(日体大)=4位、74kg級 野口次夫(自衛隊)=6位

ハンガリー独立記念大会=グレコローマン(3月23~25日、ハンガリー・ブダペス

### ト)

48kg級 佐々木文和(日体大)=5位、飯塚信良(日体大)=四失、宮原厚次(自衛隊)=二失、52kg級 朝倉利夫(国土館大)=3位、斉藤秀雄(国土館大)=三失、57kg級 柏木究(国土館大)=3位、阿佐雄二(自衛隊)=二失、長内清一(青森・八戸商高教)=三失、62kg級 藤田康隆(日体大OB)=二失、68kg級 南敏文(日体大)=二失、74kg級 野口次夫(自衛隊)=5位

ワールドカップ=フリースタイル(4月1~2日、米国・トレド)

3位(2勝2敗)

1回戦 日本 [1 - 9] 米国

2回戦 日本 [9 - 1] アフリカ連合

3回戦 日本 [2 - 8] ソ連

4回戦 日本 [7 - 3] キューバ

《個人成績》 48kg級 入江隆(自衛隊)=棄権、52kg級 清水清人(宮崎・日南

高教) = 2位、 57kg級 小泉順一(国士館大) = 3位、 62kg級 多賀恒雄(国士館大) = 2位、 68kg級 平松義高(自衛隊) = 3位、 74kg級 海沼邦彦(自衛隊) = 2位、 82kg級 藤田末広(自衛隊) = 3位、 90kg級 平山進(日体大) = 3位、 100kg級 山本弘明(国士館大) = 4位、 100kg以上級 山本邦寿(日体大) = 4位

#### **全米選手権 = フリースタイル (4月13~15日、米国・デスモネス)**

52kg級 清水清人(宮崎・日南高教) = 三失、 57kg級 小泉順一(国士館大) = 六失、 62kg級 多賀恒雄(国士館大) = 3位、 68kg級 平松義高(自衛隊) = 3位 = 3位、 74kg級 海沼邦彦(自衛隊) = 三失、 82kg級 藤田末広(自衛隊) = 四失、 90kg級 平山進(日体大) = 二失、 100kg級 山本弘明(国士館大) = 三失、 100kg以上級 山本邦寿(日体大) = 三失

#### **プレ五輪 = スパルタキアード国際大会部門 (7月22~28日、ソ連・モスクワ)**

《フリースタイル》 48kg級 入江隆(自衛隊) = 三失、 52kg級 清水清人(宮崎・日南高教) = 2位、 57kg級 江藤正基(自衛隊) = 優勝、 68kg級 横山勝幸(自衛隊) = 三失

《グレコローマン》 48kg級 佐々木文和(日体大) = 二失、 52kg級 朝倉利夫(国士館大助) = 優勝

#### **世界ジュニア選手権 = グレコローマン (7月20~23日、スウェーデン・ハパランダ)**

48kg級 斉藤育造(専大) = 5位、 52kg級 斉藤秀雄(国士館大) = 6位、 57kg級 藤井徳昭(専大) = 二失、 62kg級 藤田勅(自衛隊) = 三失、 68kg級 松林栄(日体大) = 二失、 74kg級 坂本光明(専大) = 二失、 82kg級 谷口茂敏(日体大) = 二失、 90kg級 富田栄作(専大) = 二失、 100kg級 竹中徹(中大) = 二失、 100kg以上級 渡辺明(日体大) = 二失

#### **世界スクールボーイ選手権 (8月2~4日、米国・サンディエゴ)**

《13~14歳》 32kg級 山下浩(東京・三原三中) = 4位、 38kg級 本館慎一(千葉・野田一中) = 二失、 41kg級 関根誠(千葉・野田一中) = 二失、 45kg級 松本隆(東京・三原中) = 二失、 53kg級 大河義則( ) = 二失、 49kg級 小芦英夫(群馬・太田北中) = 二失、 62kg級 大沢浩一( ) = 二失、 67kg級 岩田一也( ) = 3位、 67kg以上級 吉井克幸(岐阜・竹鼻中) = 3位

《15~16歳》 42kg級 永田慎吾(茨城・大洗南中) = 二失、 45kg級 米川日出男(千葉・野田一中) = 6位、 48kg級 荘司孝次(茨城・大洗南中) = 二失、 51kg級

森下敏清(東京・三原中)=4位、55kg級 神崎豊(神奈川・大野北中)=5位、59kg級 武藤徹(茨城・明光中)=4位、68kg級 杉山浩(茨城・大洗南中)=二失、73kg級 小島勇一(茨城・常北中)=二失  
フリースタイルのみ

**世界ジュニア選手権 = フリースタイル (8月6~9日、モンゴル・ウランバートル)**

48kg級 石川真一(国士舘大)=3位、52kg級 小林利典(大東大)=三失、57kg級 田中琢優(日大)=2位、62kg級 栄和人(日体大)=4位、68kg級 山下幸一(自衛隊)=6位、74kg級 野崎由明(日大)=三失、82kg級 保坂竹道(国士舘大)=三失、90kg級 山本隆( )=二失、100kg級 安藤正哉(日体大)二失、100kg以上級 宮内輝和(日大)二失

**世界選手権 (8月20~28日、米国・サンディエゴ)**

《フリースタイル》 48kg級 藤沢信雄(大東大教)=6位、52kg級 高田裕司(日体大研)=優勝、57kg級 富山英明(日大)=優勝、62kg級 多賀恒雄(国士舘大)=5位、68kg級 宮原章(松永製餡)=2位、74kg級 川田勝也(日大)=三失、82kg級 太田章(早大)=三失、90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティール)=一棄、100kg級 谷津嘉章(足利工大研)=二失、100kg以上級 山本邦寿(日体大)=二失

《グレコローマン》 48kg級 宮原厚次(自衛隊)=二失、52kg級 朝倉利夫(国士舘大助)=3位、57kg級 柏木究(国士舘大教)=2位、62kg級 藤田隆康(日体大OB)=二失、68kg級 南敏文(滋賀県体協)=二失、74kg級 野口次夫(自衛隊)=5位、82kg級 伊沢厚(警視庁)=二失、90kg級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教)=三失、100kg級 藤森安一(警視庁)=二失、100kg以上級 松永清志(和歌山県武道館)=三失

**アジア選手権 (11月8~11日、インド・ジュラダール)**

《フリースタイル》 48kg級 入江隆(自衛隊)=優勝、52kg級 元沢正樹(自衛隊)=優勝、57kg級 横山勝正(専大)=二棄、62kg級 多賀恒雄(国士舘大)=優勝、68kg級 宮原章(松永製餡)=優勝、74kg級 伊達治一郎(国士舘大教)=二失、82kg級 茂木優(秋田・秋田商高教)=2位、90kg級 鈴木光(ユナイテッド・スティール)=3位、100kg級 谷津嘉章(足利工大研)=優勝、100kg以上級 安藤正哉(日体大)=二失

フリースタイルのみ

**スーパーチャンピオンカップ=フリースタイル(12月15~16日、群馬・伊勢崎市民**

**体育館)**

52kg級 高田裕司(日体大研)=優勝、 57kg級 江藤正基(自衛隊)=4位、 62kg級 多賀恒雄(国士舘大)=2位、 68kg級 宮原章(松永製館)=4位

**国内**

**全国高校選抜大会(4月3~4日、新潟・新潟市体育館)**

《学校対抗戦》[1]青森・光星学院、[2]鹿児島・鹿児島商工、[3]韓国・全羅北道

《個人戦優勝者》 48kg級 佐藤満(秋田・秋田商)、 52kg級 遠藤敏一(宮城・東北工大電子)、 56kg級 西村潔(青森・光星学院)、 60kg級 友藤威(青森・光星学院)、 65kg級 尹垞在(韓国・全北体育)、 70kg級 吉田浩昭(石川・星稜)、 75kg級 桜井裕(宮城・東北工大電子)、 75kg以上級 牧野満昭(秋田・五城目)

**東日本学生リーグ戦(5月17~19・26日、東京・青少年総合センター、駒沢体育館)**

《順位》[1]日体大(3年ぶり3度目)、[2]日大

(A組順位)[1]日大、[2]国士大、[3]大東大、[4]東海大、[5]中大、[6]八戸工大

(B組順位)[1]日体大、[2]専大、[3]明大、[4]東洋大、[5]東農大、[6]早大

**西日本学生春季新人戦(5月5日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》 48kg級 時光達也(近大)、 52kg級 古川幸司(京都産業大)、 57kg級 亀田雅彦(関大)、 62kg級 松永恒志(大体大)、 68kg級 松浦雅之(近大)、 74kg級 江村太一(同志社大)、 82kg級 原田久也(近大)、 82kg以上級 木村満彦(同志社大)

フリースタイルのみ

**全日本社会人選手権(5月19~20日、東京・青少年スポーツセンター)**

《団体戦・官公庁対抗優勝》自衛隊A、《同・実業団対抗優勝》ユニマツト、《同・クラブ対抗優勝》宮崎クラブ、《同・三部対抗優勝》自衛隊A

《フリースタイル優勝者》 48kg級 純浦文夫(自衛隊)、 52kg級 元沢正樹(宇都宮自衛隊)、 57kg級 川村昌司(栃木県教委)、 62kg級 杉野浩吉(自衛隊)、 68kg級 南正昭(宮崎ク)、 74kg級 海沼邦彦(自衛隊)、 82kg級 長島偉之(栃

木・足利工高教)、 90kg 級 今村民夫(自衛隊)、 100kg 級 藤森安一(警視庁)、  
100kg 以上級 森康哲(自衛隊)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 宮原厚次(自衛隊)、 52kg 級 朝倉利夫(国  
士大教)、 57kg 級 円大海(自衛隊)、 62kg 級 杉野浩吉(自衛隊)、 68kg 級 西  
村盛正(宮崎ウ)、 74kg 級 野口次男(自衛隊)、 82kg 級 長島偉之(栃木・足利  
工高教)、 90kg 級 今村民夫(自衛隊)、 100kg 級 藤森安一(警視庁)、 100kg  
以上級 森康哲(自衛隊)

#### **西日本学生選手権(5月25~27日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 滝口善行(近大)、 52kg 級 徳永俊太(同志  
社大)、 57kg 級 岡井正憲(近大)、 62kg 級 守田武史(徳山大)、 68kg 級 永  
田満寿(福岡大)、 74kg 級 宮本明宏(徳山大)、 82kg 級 新谷武司(徳山大)、  
82kg 以上級 岩見純(福岡大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 宗友英明(関学大)、 52kg 級 亀田雅彦(関  
大)、 57kg 級 岡井正憲(近大)、 62kg 級 守田武史(徳山大)、 68kg 級 中塚  
弘志(徳山大)、 74kg 級 宮本明宏(徳山大)、 82kg 級 横山博行(関大)、 82kg  
以上級 岩見純(福岡大)

#### **世界ジュニア選手権代表選考会(5月31日~6月1日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 石川真一(国士館大)、 52kg 級 小林利典(大  
東大)、 57kg 級 田中琢優(日大)、 62kg 級 栄和人(日体大)、 68kg 級 山下  
幸一(自衛隊)、 74kg 級 野崎由明(日大)、 82kg 級 保坂竹道(国士館大)、 90kg  
級 牧野満章(秋田・五城目高)、 100kg 級 安藤正哉(日体大)、 100kg 以上級 宮  
内輝和(日大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 斉藤育造(専大)、 52kg 級 斉藤秀雄(国士  
館大)、 57kg 級 藤井徳昭(専大)、 62kg 級 藤田勅(自衛隊)、 68kg 級 松林  
栄(日体大)、 74kg 級 坂本光明(専大)、 82kg 級 谷口茂敏(日体大)、 90kg  
級 富田栄作(専大)、 100kg 級 竹中徹(中大)、 100kg 以上級 渡辺明(日体大)

#### **東日本学生春季新人戦(6月14~17日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 石井浩吉(拓大)、 52kg 級 谷川昇(中大)、  
57kg 級 上野宏之(日体大)、 62kg 級 横山勝正(専大)、 68kg 級 上村政和(日  
大)、 74kg 級 菊地隆(大東大)、 82kg 級 野崎由明(日大)、 90kg 級 山本隆

(日体大)、 90kg 級以上 宮内輝和(日大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 斉藤育造(専大)、 52kg 級 鈴木貴太郎(日体大)、 57kg 級 水谷一也(日体大)、 62kg 級 五位塚悟(大東大)、 68kg 級 菊地英利(明大)、 74kg 級 菊地隆(大東大)、 82kg 級 谷一郎(日体大)、 90kg 級 竹中徹(中大)、 90kg 級以上 宮内輝和(日大)

#### **西日本学生春季リーグ戦(6月22~24日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《順位》[1]福岡大(2季ぶり7度目)、[2]徳山大、[3]近大、[4]大体大、[5]同志社大、[6]関大

#### **全日本選手権(6月22~24日、東京・東京体育館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 藤沢信雄(大東大職)、 52kg 級 高田裕司(日体大研)、 57kg 級 富山英明(日大)、 62kg 級 多賀恒雄(国土大)、 68kg 級 宮原章(松永製あん)、 74kg 級 伊達治一郎(国土大教)、 82kg 級 茂木優(秋田・秋田商高教)、 90kg 級 鈴木光(ユナイテッド・スティーラー)、 100kg 級 谷津嘉章(足利工大研)、 100kg 以上級 山本邦寿(日体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 宮原厚次(自衛隊)、 52kg 級 朝倉利夫(国土大助)、 57kg 級 柏木究(国土大助)、 62kg 級 藤田隆康(日体大OB)、 68kg 級 南敏文(滋賀県体教)、 74kg 級 野口次男(自衛隊)、 82kg 級 伊沢厚(警視庁)、 90kg 級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教)、 100kg 級 藤森安一(警視庁)、 100kg 以上級 松永清志(和歌山武道館)

#### **インターハイ(8月3~6日、和歌山県和歌山市・和歌山県立体育館)**

《学校対抗戦》[1]青山・光星学院、[2]宮城・東北工大電子工、[3]鹿児島・鹿児島商工、秋田・秋田経法大付

《個人戦優勝者》 48kg 級 佐藤満(秋田・秋田商)、 52kg 級 野口芳孝(青森・八戸工)、 56kg 級 西村潔(青森・光星学院)、 60kg 級 友藤威(青森・光星学院)、 65kg 級 中田薫(青森・光星学院)、 70kg 級 高橋昭彦(愛知・名商大付)、 75kg 級 谷川英樹(青森・光星学院)、 75kg 以上級 坂井淳(青森・光星学院)

#### **全日本学生選手権(8月27~30日、大阪・大阪府立体育会館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 石川利明(日大)、 52kg 級 小林利典(大東大)、 57kg 級 横山勝正(専大)、 62kg 級 五位塚悟(大東大)、 68kg 級 加藤

( 国土館大 )、 74kg 級 田谷久男 ( 東洋大 )、 82kg 級 芽原功 ( 専大 )、 90kg 級 平山進 ( 日体大 )、 90kg 級以上 安藤正哉 ( 日体大 )

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐々木文和 ( 日体大 )、 52kg 級 浦本善郎 ( 日体大 )、 57kg 級 富田幸男 ( 法大 )、 62kg 級 飯岡正 ( 国土館大 )、 68kg 級 山口勝之 ( 国土館大 )、 74kg 級 池乗貞明 ( 法大 )、 82kg 級 芽原功 ( 専大 )、 90kg 級 大山隆 ( 日体大 )、 90kg 級以上 宮内輝和 ( 日大 )

**全日本学生王座決定戦 ( 10 月 4 ~ 5 日、東京・青少年総合センター ) = 決勝記録**

日体大 [ 5 - 4 ] 国土館大

日体大は 2 年連続 3 度目の優勝

**東日本学生グレコローマン選手権 ( 10 月 30 日、東京・青少年総合センター ) = 決勝**

成績

日体大 [ 6 - 3 ] 国土館大

**国体 ( 10 月 15 ~ 18 日、宮崎・日南工高、日南高 )**

《成年フリースタイル優勝者》 48kg 級 入江隆 ( 茨城・自衛隊 )、 52kg 級 清水清人 ( 宮崎・日南高教 )、 57kg 級 富山英明 ( 茨城・日大 )、 62kg 級 山崎徳夫 ( 和歌山・成東中教 )、 68kg 級 小泉清一 ( 青森・八戸工高教 )、 74kg 級 海沼邦彦 ( 青森・自衛隊 )、 82kg 級 藤田末広 ( 茨城・自衛隊 )、 90kg 級 太田章 ( 秋田・早大 )、 100kg 級 谷津嘉章 ( 栃木・足利工大研 )、 100kg 以上級 森康哲 ( 徳島・自衛隊 )

《成年グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐々木文和 ( 島根・日体大 )、 52kg 級 中村文治 ( 和歌山・県高体連 )、 57kg 級 江藤正基 ( 鹿児島・自衛隊 )、 62kg 級 田上高 ( 鹿児島・伊佐農高教 )、 68kg 級 南敏文 ( 滋賀・県体協 )、 74kg 級 長友寧雄 ( 宮崎・日南工高教 )、 82kg 級 伊沢厚 ( 東京・警視庁 )、 90kg 級 藤田芳弘 ( 和歌山・和歌山北高教 )、 100kg 級 藤森安一 ( 東京・警視庁 )、 100kg 以上級 = 優勝なし ( 2 位 2 人 )

《少年フリースタイル優勝者》 48kg 級 高橋宏 ( 青森・光星学院 )、 52kg 級 佐藤満 ( 秋田・秋田商 )、 56kg 級 西村潔 ( 青森・光星学院 )、 60kg 級 友藤威 ( 青森・光星学院 )、 65kg 級 中田薫 ( 青森・光星学院 )、 70kg 級 木名瀬重夫 ( 茨城・土浦日大 )、 75kg 級 谷川英樹 ( 青森・光星学院 )、 81kg 級 深沢隆一 ( 茨城・土浦日大 )、 87kg 級 曾根哲郎 ( 長野・小諸商 )、 87kg 以上級 牧野満章 ( 秋田・五城 )

目)

《少年グレコローマン優勝者》 48kg 級 大川秀和(三重・尾鷲工)、 52kg 級 三宅正徳(岐阜・岐阜西工)、 56kg 級 橋浦晋(宮城・東北電子工)、 60kg 級 井岡克哉(石川・星稜)、 65kg 級 金子勝己(埼玉・埼玉栄)、 70kg 級 高橋松博(青森・八戸工大一)、 75kg 級 馳浩(石川・星稜)、 81kg 級 福辺雅彦(鹿児島・鹿児島商工)、 87kg 級 本田多聞(茨城・土浦日大)、 87kg 以上級 坂井淳(青森・光星学院)

**全日本大学選手権(11月17~18日、東京・東京体育館)**

《優勝者》 48kg 級 佐々木文和(日体大)、 52kg 級 小林利典(大東大)、 57kg 級 富山英明(日大)、 62kg 級 館岡正(国士舘大)、 68kg 級 海老沢正道(日体大)、 74kg 級 田谷久男(東洋大)、 84kg 級 太田章(早大)、 90kg 級 平山進(日体大)、 90kg 以上級 山本邦寿(日体大)

《大学対抗得点》[1]日体大(3年連続4度目)、[2]日大、[3]国士舘大

**西日本学生秋季新人戦(9月8~9日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 田中一成(桃山学院大)、 52kg 級 高柳諭史(関大)、 57kg 級 北章人(近大)、 62kg 級 小野憲一(近大)、 68kg 級 平山悦司(大体大)、 74kg 級 松浦雅之(近大)、 82kg 級 江村太一(同志社大)、 82kg 以上級 木村満彦(同志社大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 時光達也(近大)、 52kg 級 亀田雅彦(関大)、 57kg 級 鳥居慶輔(名城大)、 62kg 級 松永恒志(大体大)、 68kg 級 松浦雅之(近大)、 74kg 級 滝田新太郎(桃山学院大)、 82kg 級 土田元司(同志社大)、 82kg 以上級 大村桂(近大)

**西日本学生秋季リーグ戦(11月23~25日、大阪・大阪府立体育会館別館)**

《優勝》[1]徳山大(2季ぶり2度目)、[2]福岡大、[3]近大、[4]同志社大、[5]大体大、[6]桃山学院大

**東日本学生秋季新人戦(11月26~29日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 石川真一(国士舘大)、 52kg 級 森崎智宏(日体大)、 57kg 級 桜井弘記(東洋大)、 62kg 級 五位塚悟(大東大)、 68kg 級 山口敏博(国士舘大)、 74kg 級 上村政和(日大)、 82kg 級 茂木修(日体大)、 90kg



級 富田栄作(専大)、 90kg 級以上 竹中徹(中大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 橋本伸幸(明大)、 52kg 級 今野浩道(法大)、  
57kg 級 藤井徳昭(専大)、 62kg 級 中島光正(大東大)、 68kg 級 山口敏博(国  
士館大)、 74kg 級 樋口直巳(日体大)、 82kg 級 茂木修(日体大)、 90kg 級 富  
田栄作(専大)、 90kg 級以上 竹中徹(中大)

**モスクワ五輪第3次選考会(12月17~18日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 清水清人(宮崎・日南工高教)、 52kg 級 元  
沢正樹(自衛隊)、 57kg 級 小泉順一(国土館大)、 62kg 級 山崎徳夫(和歌山・  
城東中教)、 68kg 級 平松義高(自衛隊)、 74kg 級 海沼邦彦(自衛隊)、 82kg  
級 太田章(早大)、 90kg 級 清水一夫(岡山・岡山日大高教)、 100kg 級 & 100kg  
以上級 大湊康訓(中大OB)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐々木文和(日体大)、 52kg 級 瀬本善朗(日  
体大)、 57kg 級 大野義弘(斎藤道場)、 62kg 級 長内清一(八戸市教育事務所)、  
68kg 級 山口勝之(国土館大)、 74kg 級 池乗貞明(法大)、 82kg 級 高西一宏  
(徳島・中央高教)、 90kg 級 堀川和宣(堀川組)、 100kg 級 & 100kg 以上級 松井  
保憲(皇宮警察)